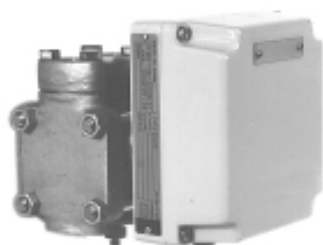


PREX3000ベクトル・インポリュート式トランスミッタ

空気式差圧発信器(標準形・高/中差圧用)

KDP11/22形



PREX3000はベクトル・バランス・メカニズムとインポリュート・メカニズムの結合から生まれた空気式発信器です。耐環境性にすぐれ、ハイ・ターンダウン・レシオ、高精度、保守が容易など数々の特長を有します。

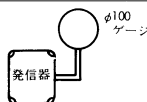
標準仕様

項目	仕様
測定範囲(連続可変)	KDP 11 ; 0~25から0~500kPa KDP 22 ; 0~2.5から0~53.9kPa
プロセス配管接続	Rc $\frac{1}{2}$ または $\frac{1}{2}$ NPTめねじ
空気配管接続	Rc $\frac{1}{4}$ または $\frac{1}{4}$ NPTめねじ
供給空気圧	140±14kPa
出力	20~100kPa その他形番構成表参照
外部負荷	内径4mm×3m+20cm ³ 以上
空気供給容量	20ℓ/min.(N) 以上/6.7kPa
空気消費量	5ℓ/min.(N) 以下(出力100%で平衡している場合)
精度	KDP 11 ; ±0.5%FS (スパン50~500kPa) ; ±0.75%FS (スパン25~50kPa未満) KDP 22 ; ±0.5%FS (スパン5~53.9kPa) ; ±0.75%FS (スパン2.5~5kPa未満)
不感帯	0.1%FS
使用圧力範囲	-50kPa~+10MPa(カバー材質により異なります。) [図.1参照]
使用温度範囲	メータボディ(プロセス流体) ; -40~+120°C 発信器(周囲) ; -30~+ 80°C [図.1参照]
使用湿度範囲	10~90%RH
耐過負荷	片側圧 10MPa
構造	防塵防水構造 ; IEC IP54, NEMA TYPE 3R, JIS F8001 第3種散水, JIS C0920 防雨形に合致
材質	メータボディカバー(差圧室) ; 炭素鋼(SF45A), SUSF316, モネル, PVC [SUS304補強板つき] { 使用圧力範囲 -10~+1500kPa } { 使用温度範囲 0~55°C } 接液部 ; SUS316(ダイヤフラムのみSUS316L), SUS316L, モネル, タンタル 接液部ガスケット ; FEP 発信部ケース ; アルミニウム合金, 封入液 ; シリコンオイル センタボディ ; SUS304
塗装	アクリル焼付塗装 塗装色 ; ライトページユ(マンセル4Y7.2/1.3)
取り付け	水平, 垂直の2インチパイプ
質量	約8kg (エア・セット付は+0.8kg)

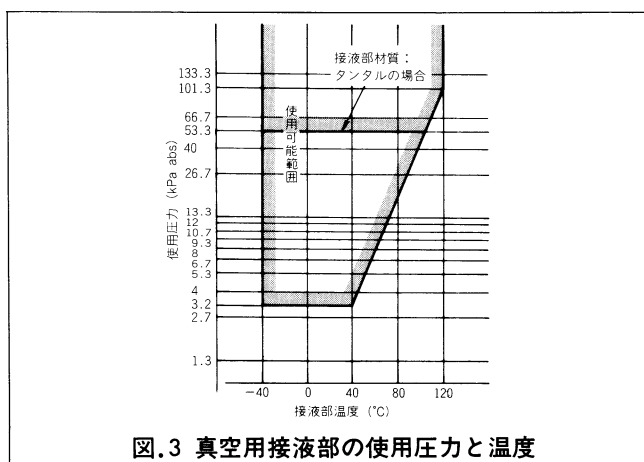
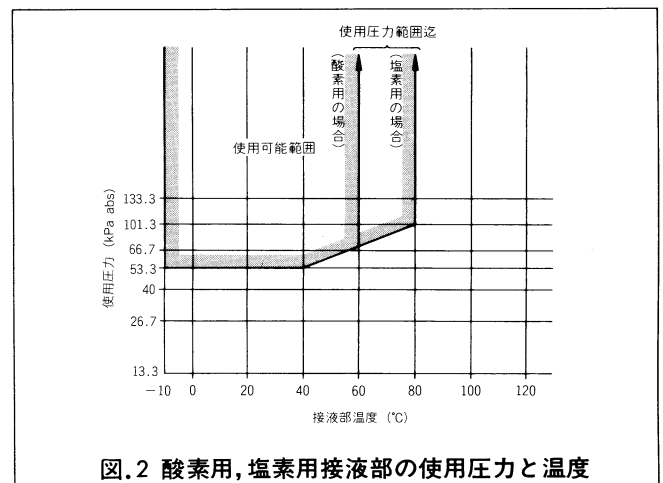
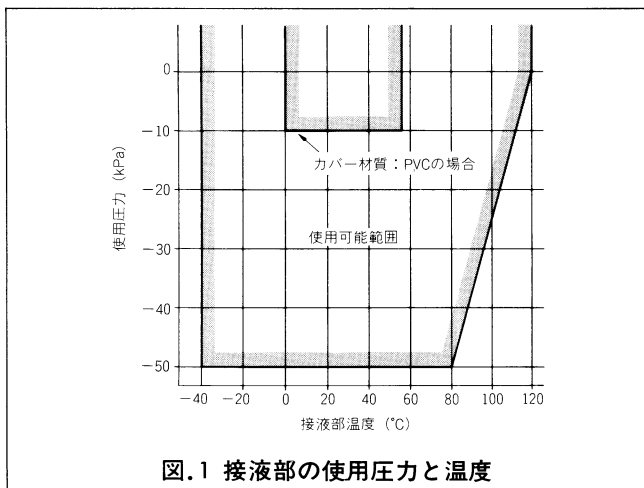
付加仕様

項 目	仕 様											
①サブプレッションおよびエレベーション (注) 高精度形は、精度が標準精度の1.5倍となります。	(単位: kPa)											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>形 番</th> <th>ス パ ン</th> <th>サブプレッション(MAX)</th> <th>エレベーション(MAX)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>KDP 11</td> <td>25~500</td> <td>500</td> <td>475</td> </tr> <tr> <td>KDP 22</td> <td>2.5~53.9</td> <td>53.9</td> <td>51.4</td> </tr> </tbody> </table>	形 番	ス パ ン	サブプレッション(MAX)	エレベーション(MAX)	KDP 11	25~500	500	475	KDP 22	2.5~53.9	53.9
形 番	ス パ ン	サブプレッション(MAX)	エレベーション(MAX)									
KDP 11	25~500	500	475									
KDP 22	2.5~53.9	53.9	51.4									
注) エレベーション+スパン ≤ 最大スパン サブプレッション ≤ 最大スパン												
②エア・セット (フィルタ付減圧弁組付)	1 次 圧 範 囲 ; 200~990kPa 2 次 圧 ; 140kPa フィルタメッシュ径 ; 5ミクロン 接 続 ; Rc $\frac{1}{4}$ または $\frac{1}{4}$ NPTめねじ											
③高精度形	KDP 11 ; ±0.25%FS (スパン50~500kPa) ; ±0.5%FS (スパン25~50kPa未満) KDP 22 ; ±0.25%FS (スパン5~53.9kPa) ; ±0.5%FS (スパン2.5~5kPa未満)											

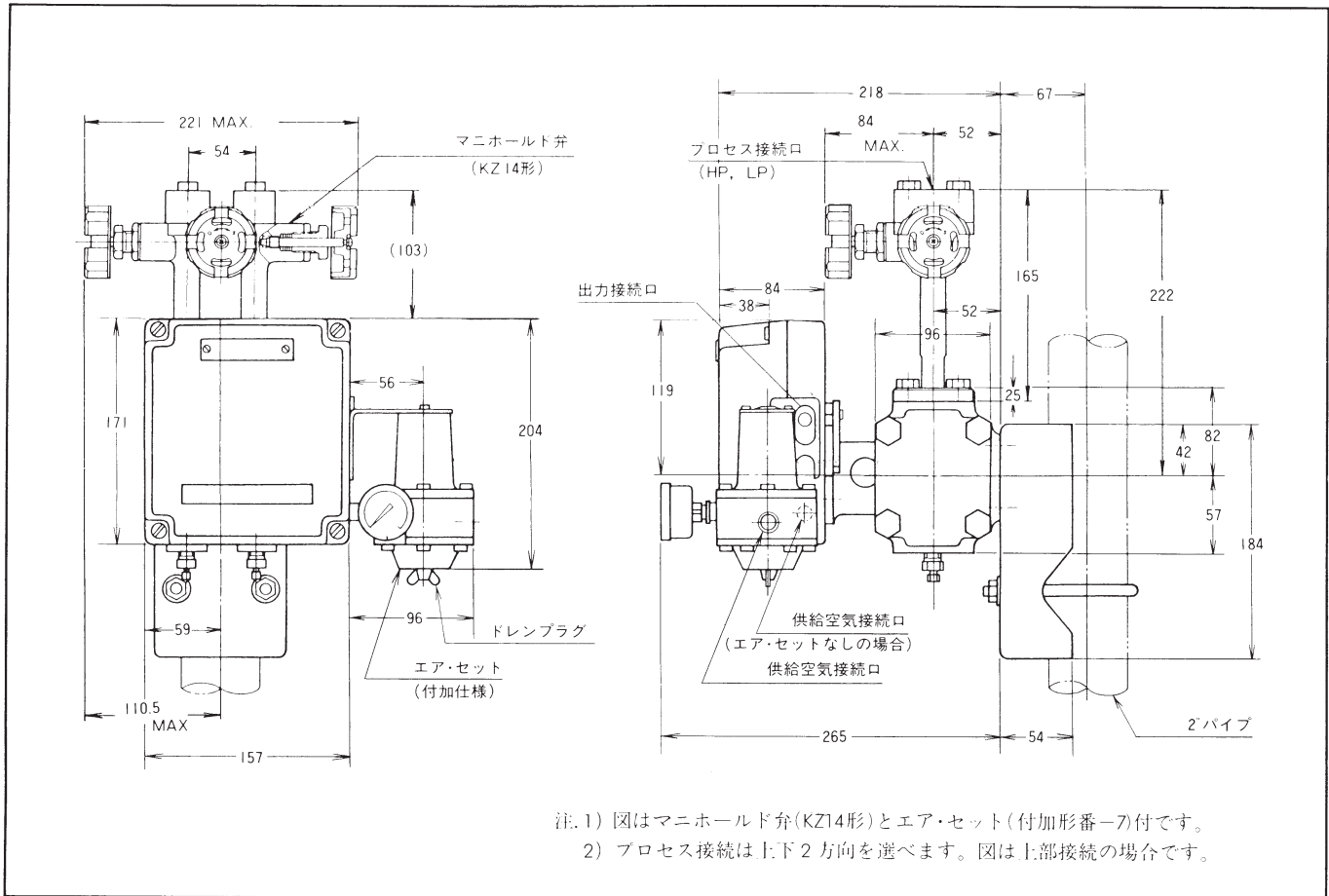
準標準仕様

項 目	仕 様
①真空用 (Y23)	Y169, Y182, Y183との組合せは不可です。 〔図.3参照〕
②スチーム・ブロック付 (Y29) (ただし、PVCカバー、モネルカバーは除く)	最高使用圧力 ; 5MPa 最高使用温度 ; 250°C (ただし、メータボディ温度は120°C以内) スチーム配管接続 ; Rc $\frac{1}{4}$ または $\frac{1}{4}$ NPTめねじ ブ ロ ッ ク 材 質 ; 炭素鋼 (SF45A)
③SUS304メータボディ カバー締付けボルト (Y66)	最高使用圧力 ; カバー材質が炭素鋼, SUSF316, モネルの場合 6MPa, PVCの場合 1.5MPa
④防食およびシルバー塗装 (Y138)	防食(アクリル焼付)塗装(Y138A) ; 耐腐食性雰囲気 重防食(エポキシ焼付)塗装(Y138B) ; 耐腐食性液 シルバー一般(アクリル焼付)塗装(Y138C) ; 日射, 輻射熱などによる機器の 温度上昇防止 シルバー防食(アクリル焼付)塗装(Y138D) ; 上記の温度上昇防止と耐腐食性雰囲気 (注, シルバー塗装はアルカリ系雰囲気での使用には適しません。)
⑤ダンピング調整付 (Y169)	時 定 数 ; MIN. 0.5秒以下 (KDP11形でY182またはY183と組み合わせる場合は, (連続可変) MAX. 15秒以上 MIN. 0.5秒以下, MAX. 3秒以上となります。)
⑥プロセス配管後部接続形 (Y171)	炭素鋼, SUSF316およびSUS316Lカバーの場合に適用 (発信器の取付けは水平2 ¹ パイプのみ)
⑦酸素用 (Y182)	接 液 部 材 質 ; SUS316またはSUS316L 封 入 液 ; フッ素オイル 使用温度範囲(流体, 周囲) ; -10~+60°C 接液部を脱脂処理 〔図.2参照〕
⑧塩素用 (Y183)	接 液 部 材 質 ; タンタル 封 入 液 ; フッ素オイル 使用温度範囲(流体, 周囲) ; -10~+80°C 接液部を脱脂処理 〔図.2参照〕
⑨出力指示計付 (Y185)	φ100 ゲージ付 
⑩高耐振用 (Y188)	グッシュポットを付加した高耐振形

基礎形番	カバー材質		接液部材質		空気配管接続	表記圧力 単位/信号 空気圧	付加仕様	内 容
	HP	LP	HP	LP				
KDP 11								高差圧発信器
KDP 22								中差圧発信器
		-1						炭素鋼 (SF45A)
		-2						SUSF316
		-3						モネル
		-5						PVC
			1					炭素鋼 (SF45A)
			2					SUSF316
			3					モネル
			5					PVC
				2				SUS316(ダイアフラムのみSUS316L)
				3				モネル
				4				タンタル
				8				SUS316L
					2			SUS316(ダイアフラムのみSUS316L)
					3			モネル
					4			タンタル
					8			SUS316L
					A			Rc $\frac{1}{4}$
					B			$\frac{1}{4}$ NPTめねじ
						3		bar/0.2~1.0bar
						4		Pa/20~100kPa
						8		Pa/19.6~98.1kPa
							-X	なし
							-5	エレベーション
							-6	サブプレッション
							-7	エア・セット
							-H	高精度形



外形寸法図



ご用命に際しましては下記についてご指定下さい。

- 1) 形番
- 2) 測定範囲
- 3) 付加仕様
- 4) 標準仕様 (二つ以上の組合せについてはお問合せ下さい。)

関連資料

取扱説明書.....OM1-5220-0000
 OM1-5220-1100

アズビル株式会社

アドバンスオートメーションカンパニー

本社 〒100-6419 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル

北海道支店 ☎(011)781-5396 中部支社 ☎(052)324-9772
 東北支店 ☎(022)290-1400 関西支社 ☎(06)6881-3331
 北関東支店 ☎(048)621-5070 中国支店 ☎(082)554-0750
 東京支社 ☎(03)6810-1211~2 九州支社 ☎(093)285-3530

[ご注意]この資料の記載内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせは、弊社事業所へお願いいたします。



(25) <アズビル株式会社> <http://www.azbil.com/jp/>